

節電のご協力のお願い

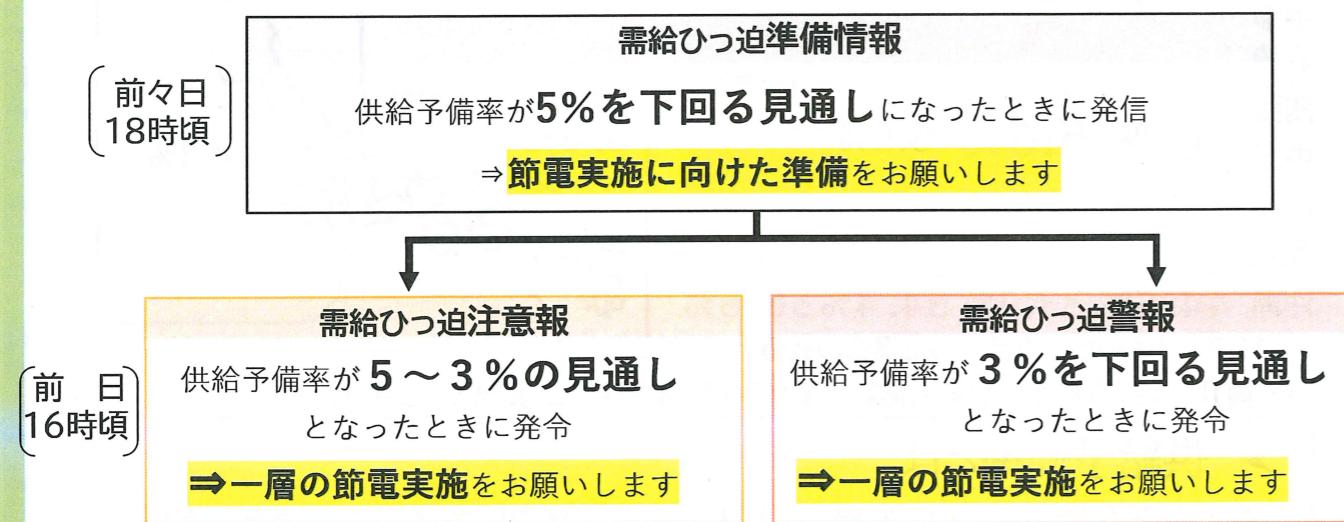
九電グループは供給面・需要面での対策を進めてまいりますが、お客さまにおかれましても、**無理のない範囲でできる限りの節電にご協力いただきますようお願い申し上げます。**

[節電をお願いしたい期間・時間帯(政府要請)]

2022年12月1日(木)～2023年3月31日(金)の終日

需給ひつ迫時のお知らせ

電力の需給が厳しくなった場合は、前々日に九州電力送配電から「需給ひつ迫準備情報」が発信され、前日に国から「需給ひつ迫の注意報や警報」が発令されます。それぞれ、九電グループとして、記者発表やHP・SNS等でお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。



具体的な節電方法の例

【ご家庭】	エアコン	暖房時は室内温度20℃を目安に使用 フィルターの清掃は2週間に1回
	電気こたつ	設定を強→中、こたつ布団に上掛と敷布団を併用
	照明	不要な照明を消す。明るさを下げる
	冷蔵庫	設定を強→中、開閉時間は短く
	テレビ	省エネモードに設定。画面の輝度を下げる
【オフィス】	照明	間引きする
	ネオンサイン	消灯する
	エレベーター	一部停止する
	OA機器	使用を少なくする

その他の節電方法についてはこちらをご覧ください

【ご家庭】電気事業連合会 省エネ・節電お役立ち情報
<https://www.fepc.or.jp/sp/powersaving>

【オフィス】九州電力ホームページ
https://www.kyuden.co.jp/business_escos_index.html

今冬の電力需給見通しと

節電ご協力のお願い

～無理のない範囲でできる限りの節電に
ご協力いただきますようお願い申し上げます～

今夏の節電のご協力への御礼

2022年度夏季は期間を通して気温がかなり高く推移し、8月2日には前年を上回る時間最大電力が発生する状況でしたが、お客さまの節電へのご協力や追加の供給力確保などにより安定して電気をお届けすることができました。

皆さまの節電へのご協力に対し、改めてお礼申し上げます。



今冬の気候(日本気象協会)

- ラニーニャ現象などの影響で、日本付近は**冬型の気圧配置が強い**見通し
- 九州の**平均気温は平年並みか低い**予想

電力需要状況

- 東日本大震災以降、徹底した節電へのご協力により、大きく減少していた電力需要が**ここ数年は増加傾向**
- 冬季は、一昨年と昨年の2年連続して**全国の複数のエリアで最大電力実績が想定を上回った**

ウクライナ情勢等の影響

- ロシアのウクライナ侵攻により、各国が燃料調達先をロシアから他の国へ切り替えた結果、調達競争が激化し、必要な量を確保することが難しくなった
- 加えて、燃料生産国の設備トラブルなどにより**燃料供給が途絶えるリスクが継続**しており、燃料を取り巻く情勢は**予断を許さない**

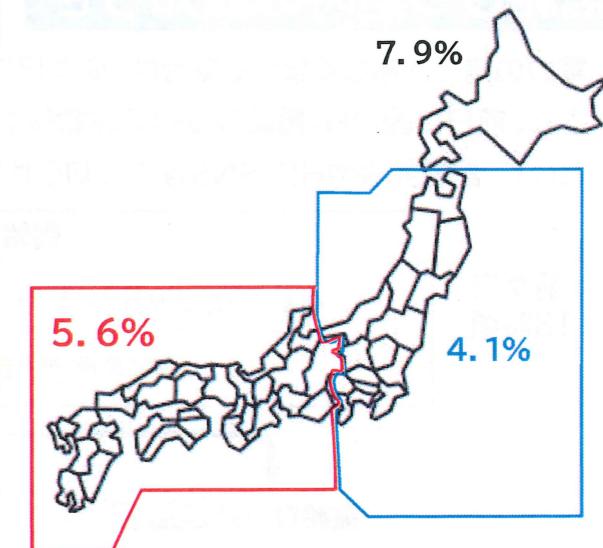
2022年度冬季の電力需給見通し(資源エネルギー庁)

- 10年に1度の厳冬を想定した場合でも、電力の安定供給に最低限必要とされる**供給予備率3%を確保**できるものの、**想定外の気温低下による電力需要の増加や予期せぬ電力設備のトラブル**などのリスクを考慮すると**厳しい見通し**

[今冬の供給予備率(見通し)]*

エリア	12月	1月	2月	3月
北海道	14.4%	7.9%	8.1%	12.1%
東北	9.2%	4.1%	4.9%	
東京				
中部				
北陸				
関西	7.4%	5.6%	6.5%	11.5%
中国				
四国				
九州				
沖縄	44.5%	33.1%	34.4%	56.6%

[1月の需給見通し]



*10年に1度の厳冬を想定した場合の数値

[出典]「2022年度冬季の電力需給対策」(2022年11月1日 資源エネルギー庁)

▶ 供給予備率とは

電力需要が最も高くなった時に、どのくらい供給力に余裕があるかを示す値。電力を安定して供給するためには、**供給予備率3%が最低限必要**とされています。

$$\text{[計算式]} \text{ 供給予備率(%)} = \frac{\text{供給予備力 (供給力 - 予想最大電力)}}{\text{予想最大電力}} \times 100$$

九電グループは不測の事態に備え、電力の需要面・供給面での対策を進めてまいります

需要面の対策

- ご家庭、法人お客さま向けに**省エネ手法を紹介、無理のない範囲で節電を呼びかけ**
- 九電ecoアプリ等を活用した**節電プログラム※を実施**

※詳細は11月中にお知らせ予定

節電プログラムの一例…当社が節電対象の時間帯を前日にお知らせし、当該時間帯に節電していただくと、節電量に応じて特典を進呈

供給面の対策

- 計画停止を予定していた**苅田新1号機(石炭火力)を稼働**
- 発電所のトラブル防止に向け、**点検補修の適切な実施やパトロールを強化**
- 電力需要が急増したときにも対応できるよう、**燃料の備蓄等を上積み**